

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-2
PDCA	主要事業名	クリーンセンター施設改修事業	部課名	市民経済部環境課	担当	岩瀬	
					内線	23-3567	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策： 循環型社会						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 153,560 千円						
	会計 一般会計 歳出科目 04.02.01.02.50						
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 2,200 千円						
	事業概要等	事業概要： 令和4年4月のクリーンセンターごみ処理施設稼働停止に伴い、焼却棟から供給している電気・水道・空調設備等が停止となる。今後も継続して使用する管理棟、計量棟、資源回収センター等のライフラインを確保するための改修工事を実施する。					
		事業目的： 焼却棟から電気・水道・空調設備等を切り離すことにより、各施設を独立させ機能確保を図る。					
		事業内容： クリーンセンター施設改修のための工事発注仕様書を作成する。					
		問題点・課題等： 管理棟では通常業務を行っているため、改修工事による電気・水道・空調等の切替作業については、施工管理者との十分な調整が必要である。					
	予算額	主要事業とする理由					
	2,200 千円	クリーンセンターごみ処理施設の稼働停止後も、ごみ減量業務等を所管する管理棟は継続して使用するため、改修工事が必要となるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	施設の改修工事を行うことにより、管理棟を令和4年度以降も市民のごみ減量を推進する拠点として活用することができる。					
	2,200 千円	目標値や目指すべき状態					
	国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位					
	0 千円	施設改修のための工事発注仕様書を作成する					
0 千円	実績値 目標値						
その他	実績値 目標値						
0 千円	実績値 目標値						

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）	
	473 千円	焼却棟と管理棟の設備調査を行い、必要な設計書を作成することができた。					
		成果指標					
		令和3年度 単位					
		実績値 実施済					
		目標値					
		実績値 目標値					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 令和4年3月末のごみ処理施設稼働停止に伴い、令和4年に焼却棟から供給している空調設備を切り離す工事の実施に向けて設備調査を行い、必要な設計書を作成することができた。 電気・水道設備については、焼却棟の取り壊しに合わせて実施するため、今後、改修工事を実施する必要がある。					
A 今後課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	現状維持 令和4年度に空調等の切り替え工事を行う。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献		⑦コスト	
		②市民ニーズ		⑤成果向上の余地		削減余地	
		③休廃止の影響		⑥類似事業の有無		⑧受益者負担適正化余地	